

平成 17 年度 関東地区公立中学校修学旅行委員会活動報告

平成 18 年 2 月 23 日

1. 会議の状況

4 回の研究協議会(第 1 回は兼総会)と 3 回の研究委員会(第 3 回研究委員会は休会)、役員代表者会を開催した。

各会議の開催日、主な議題等は以下のとおり。

月日	会議名	会場	主な議題
6 月 3 日 (金)	総会兼第 1 回研究協議会	東京文化会館	・平成 16 年度活動報告 ・平成 17 年度活動計画の協議決定
	第 1 回研究委員会	々	・調査研究の方向・内容の検討
9 月 30 日 (金)	第 2 回研究協議会	東京文化会館	・平成 19 年度修学旅行新幹線輸送計画 申込み状況並びに輸送計画割付原案
	第 2 回研究委員会	々	・調査データに基づく考察
10 月 28 日 (金)	第 3 回研究協議会	東京文化会館	・平成 19 年度修学旅行新幹線輸送計画 の決定 ・J R 2 社との意見交換会
平成 18 年 2 月 9 日(木)	役員代表者会	東京文化会館	・平成 17 年度活動のまとめ ・平成 18 年度活動の対策
2 月 23 日 (木)	第 4 回研究協議会	東京文化会館	・平成 17 年度活動のまとめ
	第 4 回研究委員会	々	・平成 18 年度活動計画の協議

2. 連合体計画輸送の状況

(1) 平成 17 年度計画輸送の実施

平成 17 年度修学旅行の計画輸送は、東海道新幹線の専用電車及び東海道・東北・山形新幹線の定期混乗電車を利用し、関西方面へ春期 3 コース・秋期 1 コース、東北方面 2 コースを 5 月 10 日(火)から 9 月 20 日(水)まで延べ 155 日間運行し、796 校 115,329 人の生徒の安全で快適な輸送を終了した。

本年度から関西 A コースは、新年度早々のクラス編成等指導上の観点から、4 月の実施を避けたいとの学校の要望を受け実施を 5 月連休明け(5 月 10 日出発)からとした。

5 月 10 日(火)専用電車第 1 便の出発にあたり、運行の安全を祈念し東京駅東海道新幹線 15 番ホームにおいて乗車校の代表者はじめ関係者が出席し出発式を実施した。

また、日本国際博覧会(愛・地球博=愛知県会場)の開催に伴い、名古屋駅の乗下車が可能となった。この措置は今後も継続される。

東海道新幹線・東北・山形新幹線の特急料金 5 割減免を伴う計画輸送により、6 億 3 千 9 百万円余の保護者負担軽減を図ることができた。

県別・コース別の実施校数・人数、輸送期間は次表の通り。

平成 17 年度修学旅行計画輸送校数・人数

(校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
A	40	6,163	98	13,681	6	346	176	28,086	114	17,535	434	65,811
B	87	11,292	23	2,364	32	2,657	79	11,260	33	3,885	254	31,458
C	2	261	0	0	0	0	57	9,891	36	6,004	95	16,156
秋期	0	0	0	0	0	0	7	1,139	0	0	7	1,139
関西合計	129	17,716	121	16,045	38	3,003	319	50,376	183	27,424	790	114,564
東北	0	0	0	0	0	0	1	142	1	111	2	253
東北/山形	0	0	0	0	0	0	0	0	4	512	4	512
東北合計	0	0	0	0	0	0	1	142	5	623	6	765
総合計	129	17,716	121	16,045	380	3,003	320	50,518	188	28,047	796	115,329

コース別運行期間

	Aコース	Bコース	Cコース	東北、東北・山形
運行期間・日数	5/10～7/9 61日間	5/10～6/8 30日間	春期 5/10～6/25 47日間 秋期 9/12～9/20 9日間	5/16～5/21 6日間 6/1～6/3 2日間

(2) 平成 19 年度修学旅行計画輸送の策定

平成 19 年度修学旅行の計画輸送は、新たに関西 4 月限定コース、秋田・上越・長野新幹線コース(いずれも定期混乗列車)を設定し、以下の会議等を経て決定、発表した。

申込み数は 792 校・113,159 人で、対前年 7 校増加・2,295 人の減少となった。関西 4 月限定コースには 1 校の申込みがあったが、1 校では設定が困難なため、当該校は A コースへの振替となった。秋田・上越新幹線コースには申し込みがなかった。

計画輸送決定までの流れ

6 月 3 日(金)：総会・第 1 回研究協議会(平成 19 年度輸送計画大綱の決定)

6 月中旬～7 月中旬：輸送申込み

7 月下旬～8 月中旬：各県で申し込みの集計

8 月下旬～：割付原案の作成(19 年度ロケーション 千葉 埼玉 茨城・栃木・群馬)

9 月 30 日(金)：第 2 回研究協議会(申込み状況報告並びに輸送割付原案の提示)

9 月 30 日(金)：群馬県修学旅行委員会

10 月 4 日(火)：茨城県・栃木県合同修学旅行委員会

10 月 11 日(火)：千葉県修学旅行委員会

10 月 18 日(火)：埼玉県修学旅行対策部

輸送割付原案の確認と調整

10 月 28 日(金)：第 3 回研究協議会(輸送割付の決定)

11 月 24 日～：各学校へ輸送計画書の配付(利用校 2 部、独自校 1 部、地方教育委員会 1 部)

11 月 30 日(水)：平成 19 年度輸送計画の発表並びにホームページへの掲載

申し込みの学校数と生徒数

平成 19 年度修学旅行計画輸送申込み校数・人数

(校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 校数
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	46	6,703	96	13,324	12	887	203	32,140	122	18,948	478	72,002	11
B	83	10,470	24	1,784	24	1,982	57	7,461	28	3,518	216	25,215	8
C	1	84	1	160	1	80	46	8,259	28	4,362	77	12,945	-15
秋期	0	0	0	0	0	0	14	2,441	0	0	14	2,441	1
合計	130	17,257	121	15,268	37	2,949	320	50,301	178	26,828	786	112,603	6
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	4	312	4	312	1
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	1	111	1	111	-1
*秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
*長野	0	0	0	0	0	0	0	0	1	133	1	133	-
*上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	6	556	6	556	1
総合計	130	17,257	121	15,255	37	2,949	320	50,301	184	27,384	792	113,159	7
対前年	3	-283	0	-571	-1	-87	1	-1,407	4	53	7	-2,295	

*印 19 年度からの新設

3. 研究調査活動

(1) 研究委員会の活動

本年度修学旅行の実施状況を把握するとともに、修学旅行における危機管理についてアンケート調査を行った。まとめは、「平成 17 年度修学旅行の実施状況並びに修学旅行における危機管理アンケート調査集計結果の分析と考察」として、第 41 回修学旅行研究発表会で報告するとともに、関修委ホームページに掲載した。

< 会議の状況 >

第 1 回研究委員会 6 月 3 日(東京文化会館) 調査の方向・骨子の検討

第 2 回研究委員会 9 月 30 日(東京文化会館) 調査データ等の考察

第 3 回研究委員会 休会

第 4 回研究委員会 2 月 23 日(東京文化会館) 活動のまとめと次年度活動の検討

(2) 第 41 回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会の開催

日 時：平成 17 年 11 月 1 日(火) 13 時 30 分～16 時 30 分

会 場：水上館(群馬県水上町)

主 催：関東地区公立中学校修学旅行委員会、(財)全国修学旅行研究協会

後 援：茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉の各県教育委員会・中学校長会、みなかみ町教育委員会

参加人数：112 名(群馬県 62 茨城県 11 名栃木県 10 名埼玉県 15 名千葉県 10 名、全修協 4 名)

内 容： 関東地区公立中学校修学旅行委員会の活動報告
研究発表 2 校（沼田市立薄根中学校、渋川市立金島中学校）
研究協議、 指導講評
研究発表会アンケートまとめ 別紙 1

(3) 現地視察会

愛知県修学旅行現地視察会

- ア．実施月日：平成 17 年 8 月 2 日(火)～4 日(木) 3 日間
- イ．参加者：11 名(茨城県 2 名、栃木県 1 名、群馬県 2 名、埼玉県 3 名、事務局 2 名、
全修協名古屋事務局 1 名)
- ウ．視察内容：産業観光と武家文化をテーマに三河地域を中心に視察。
小牧長久手町/愛・地球博、豊田市/トヨタ記念館・トヨタ自動車工場、
岡崎市/三河武士の館・家康館、吉良町/花岳寺(座禅体験)、華蔵寺(吉良家菩提寺)、
蒲郡市/ラグーナ蒲郡、豊橋市/豊橋市ポートインフォメーションセンター、東海道二川宿本陣資
料館、田原市/田原市博物館

神戸市修学旅行現地視察会

- ア．実施月日：平成 17 年 12 月 23 日(金)～24 日(土) 2 日間
- イ．参加者：21 名(栃木県 4 名、埼玉県 5 名、千葉県 9 名、全修協 1 名、事務局 2 名)
- ウ．視察内容：神戸市内の震災学習を中心に体験学習先等の視察、神戸市受入れ機関・団体
との意見交換会を行う。
人と防災未来センター、神戸長田コンベンション協議会、キメックビル(神戸空港展望)、
明石海峡大橋(須磨プロムナード)、孫文記念館、北野工房のまち

4．陳情・要請活動

(1) 平成 18 年度修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情

国の三位一体改革により、17 年度から準要保護家庭については一般財源として地方自治体の
交付金に含まれることとなった。このため、平成 18 年度から要保護家庭の児童生徒を対象に陳
情を行った。

ア．陳情先・月日

文部科学大臣、同初等中等教育局長、同初等中等教育局児童生徒課長 9 月 7 日(水)
財務大臣、財務省主計局長、同主計局文部科学省担当主計官 9 月 6 日(火)

イ．陳情者(5 団体連名)

関東地区公立中学校修学旅行委員会、東海三県中学校修学旅行委員会、近畿地区公立中学校
修学旅行委員会、あおぞら号近畿地区運営協議会、財団法人全国修学旅行研究協会

ウ．陳情内容

全国公立小・中学校在籍の要保護及び高度へき地(3 級～5 級地)の児童生徒を対象に修学旅行
費並びに校外学習費の国庫補助金の増額

平成 18 年度修学旅行費等の国庫補助金の決定額(単価)

対象人数

(円)				(人)		
行事	学校種別	要望額	決定額	種別	17 年度	18 年度
修学 旅行	中学校	56,100	55,900	小学校	12,892	13,064
	小学校	20,800	20,600			
校外 学習	中学校	宿泊を伴う場合	5,940	5,840	中学校	12,266
		宿泊を伴わない場合	2,280	2,180		
	小学校	宿泊を伴う場合	3,570	3,470		
		宿泊を伴わない場合	1,610	1,510		

(2) 継走新幹線の土曜・休日割引の実施

東日本旅客鉄道(株)に対して要望を重ねていた、「継走新幹線の特急料金割引措置の適用」について、9月9日同社営業部より利用条件付ながら以下のとおりの回答を得た。

回答内容

1. 利用条件について

連合体割引(自由席特急料金の 50%割引)は、土曜日及び休日に、JR 東日本が指定した列車の自由席乗車に限り適用。

指定席を利用となった場合は通常料金を適用。なお、自由席の利用を希望しても、複数の学校からの申込が重複した場合など人数が集中した場合、希望に添えない場合がある。ダイヤ改正等に伴い、利用列車を変更する場合がある。

利用の際の取扱は、現行と同様の取扱。なお、乗車号車指定となり、申込人数が多数の場合など申込人員分の座席を用意できない場合もある。

2. 利用列車について

東北新幹線

・乗車駅 那須塩原・宇都宮・小山

・利用列車

列車名	発駅	発時刻	着駅	着時刻
なすの 228 号	小山	6:21	東京	7:04
なすの 230 号	那須塩原	6:08	東京	7:24
なすの 232 号	那須塩原	6:20	東京	7:32
なすの 236 号	郡山	6:16	東京	7:56
なすの 240 号	那須塩原	7:03	東京	8:16
MAX なすの 242 号	那須塩原	7:28	東京	8:40
専用臨()	小山	6:15	東京	7:30 頃

専用臨については、利用状況等により設定

228B 除く土曜・休日普通車一部指定席

上越新幹線

- ・乗車駅 上毛高原・高崎・本庄早稲田・熊谷
- ・利用列車

列車名	発駅	発時刻	着駅	着時刻
たにがわ 470 号	高崎	6:17	東京	7:20
MAX たにがわ 430 号	越後湯沢	6:02	東京	7:36
MAX たにがわ 472 号	高崎	6:51	東京	7:52
MAX たにがわ 432 号	越後湯沢	7:02	東京	8:36
たにがわ 476 号	高崎	8:15	東京	9:15

土曜・休日普通車一部指定席

長野新幹線

- ・乗車駅 安中榛名
- ・利用列車

列車名	発駅	発時刻	着駅	着時刻
あさま 500 号	長野	6:00	東京	7:40
あさま 570 号	軽井沢	6:40	東京	7:59

土曜・休日普通車一部指定席

3. 利用開始日について

平成 18 年春季分より利用開始を予定。

連合体額表の取扱について

- ・平成 18 年度 連合体額表に追加設定はせず、対応。
- ・平成 19 年度 連合体額表に設定のうえ、年度額表会議に提出。

要望の経過

- ・平成 12 年(2000 年)10 月 20 日
東日本旅客鉄道(株)東京支社へ「連合体輸送の乗り継ぎ特急料金割引措置について」要望
- ・平成 14 年(2002 年)9 月 27 日
東日本旅客鉄道(株)代表取締役社長へ「連合体輸送の乗り継ぎ列車の特急料金割引措置について」要望
- ・平成 15 年(2003 年)9 月 19 日、第 2 回研究協議会
JR 東海・JR 東日本との意見交換会にて「連合体輸送の乗り継ぎ列車の特急料金割引措置」を要望
- ・平成 16 年(2004 年)10 月 22 日、第 3 回研究協議会
JR 東海・JR 東日本との意見交換会にて「連合体輸送の乗り継ぎ列車の特急料金割引措置」を要望

(3) JR 関連について

1) 団体旅客(学生・一般)の取扱いについて < JR からの通知 >

東海道新幹線座席割付順序の変更(平成 17 年 10 月 1 日発車分から)
現行 15 号車から入れ付け 14 号車・禁煙席から優先的に入れ付け
連合体の料金収受の特例廃止

C コース:「ひかり号」自由席特急料金適用 「のぞみ号」指定席特急料金を適用

当案件 は第 2 回研究協議会で協議の結果、以下の対応とした。

- ・ 18 年度は既に旅行会社を決定し、見積りも決定している。
- ・ 利用列車の形態に応じた料金適用はやむを得ない。

が、実施(利用に列車に応じた料金適用)は 19 年度からにしたい、と委員会の決定を事務局より JR 東日本に連絡することとした。

10 月 3 日(月)、第 2 回研究協議会の決定を受け、JR 東日本東京支社を訪問。

「関修委として特例の廃止は致し方ないが、利用列車に応じた料金適用は平成 19 年度実施分からお願いしたい」と連絡。

2) 意見交換会について

日 時:平成 17 年 10 月 28 日(金) 第 3 回研究協議会にて 14 時 30 分～15 時 30 分

内 容:連合体輸送に関する意見交換

意見交換会要録 別紙 2

5. 他団体との連携

(1) 全修協環境学習セミナー

< 白神山地コース > (後援:関修委、秋田県観光連盟、能代市他)

ア. 実施月日:平成 17 年 8 月 18 日(木)～20 日(土) 3 日間

イ. 参加者:20 名(関修委から 2 名参加)

ウ. 内 容:白神山地・二ツ森、岳岱のフィールドワークと学習会

【講師】鎌田孝一氏(白神山地のブナ原生林を守る会理事長)

齋藤栄作美氏(白神山地世界遺産センター藤里館自然アドバイザー、

戎屋紘希氏(能代市観光推進室室長)

< 水俣コース > (後援:関修委、熊本県、水俣市他)

ア. 実施月日:平成 17 年 8 月 18 日(木)～20 日(土) 3 日間

イ. 参加者:8 名(関修委から 2 名参加)

ウ. 内 容:水俣市で学習会・講演とフィールドワーク

【講師】丸山定巳氏(熊本大学名誉教授)、田中睦氏(水俣・芦北公害研究サークル代表)、吉井正澄氏(前水俣市長)、吉永利夫氏(NPO 法人水俣教育旅行プランニング専務理事)

(2) 第 22 回全国修学旅行研究大会

日 時：平成 17 年 11 月 12 日(土) 13:30～16:15

会 場：日本科学未来館（東京臨海副都心お台場）

主 催：(財)全国修学旅行研究協会

後 援：文部科学省、関東地区公立中学校修学旅行委員会他

内 容：「修学旅行における『学び』の創造」テーマに、実践発表とシンポジウム

参加者：150 名（関修委から 5 名参加）

(3) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会

日 時：平成 18 年 1 月 27 日(金) 13:45～15:50

会 場：全日本中学校長会館会議室

主 催：(財)全国修学旅行研究協会

内 容：各委員会の活動状況と修学旅行に関する情報・意見交換

出席者：近畿地区公立中学校修学旅行委員会 橋戸会長(上野町立上野中学校長)、
森永副会長(亀岡市立南桑中学校長)
東海三県中学校修学旅行委員会 桑野愛知県代表(扶桑町立扶桑中学校長)
関東地区公立中学校修学旅行委員会 中山運営委員長(長野原町立西中学校長)、
森運営副委員長(流山市立南流山中学校長)
全修協 中西理事長ほか本部・大阪・名古屋各事務局職員

6. その他

(1) 資料・情報について

修学旅行等の最新の資料・情報を各研究協議会・発表会等で提供した。

京都伝統工芸体験(京都府商工会議所)、 神戸修学旅行・神戸学遊パスポート(神戸市)、
雇用・能力開発機構/わたしの仕事館、 日本科学未来館特別展、 つくば体験創造ツア
ーガイド(つくばサイエンス・オフィスツアー)、 修学旅行資料「関西の旅」(関修委監修・
発行教材研究所)

(2) 事務局の動向

事務局は、各研究協議会・研究委員会の運営に携わるとともに、各県の委員会への出席及
び連合体の利用拡大等を兼ねて校長会を訪問、関修委活動のPRを行った。

また、JR 東日本・JR 東海とは随時訪問・連絡を行い、計画輸送がスムーズかつ確実に実施
されるよう働きかけを行っている。

6 月 1 日 君津市校長会

6 月 14 日 木更津市校長会

6 月 16 日・7 月 25 日・10 月 11 日 千葉県修学旅行委員会

6 月 29 日・10 月 18 日・2 月 14 日 埼玉県修学旅行部会

10 月 4 日 茨城県・栃木県合同修学旅行委員会

10 月 6 日 群馬県修学旅行委員会